

8月27日、田舎暮らし体験による正しい健康観や生活習慣を身に付けることを目的に、MIYAMA森の湯治場が主催する「病知らず」をめざすワークショップが開催されました。「養生」にまつわる座学や里山クッキング、鍼灸、ストレッチなどの実習講座が1日を通して行われました。各講座の前後に血圧などを測り、参加者は体の状態の変化を実感されていました。

MIYAMA森の湯治場は地域団体で構成されており、監修を務める明治国際医療大学の伊藤和憲教授は、「美山を養生のメッカとして人を呼び込み、この事業をモデル化し、全国に発信していきたい」と思いを語られました。



▲ゲル(モンゴル式テント)でストレッチを行う参加者

「美山の里山で健康になる術を学ぶ」

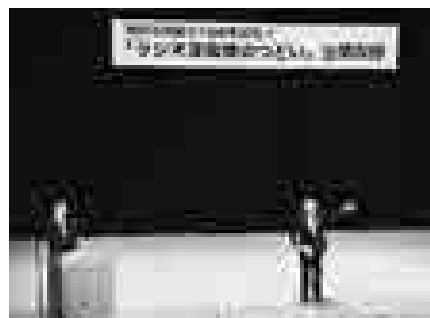
(8/27 森の湯治場 第1回「病知らず」をめざすワークショップ)



▲質問コーナーで徳田アンカー(右)、森田アンカー(中央)に質問する来場者(左)

南丹市制施行10周年を記念して、NHK京都放送局、NHKサービスセンターと市の共催により「ラジオ深夜便のつどい」公開収録を行いました。

当日は、第1部「京の朗読会 in 南丹市」と第2部「明日への言葉」、第3部「アンカーを囲むつどい」の公開収録が行われました。第3部「アンカーを囲むつどい」では、徳田章アンカーと森田美由紀アンカーが出演。前日に日吉と美山をロケされた話やラジオ深夜便の放送中の裏話、来場者の質問コーナーなどがあり、会場となった日吉町生涯学習センターは大いに賑わいました。



▲開会のあいさつをする佐々木市長(右)と司会を務めた入江憲一アナウンサー(左)

「市政10周年をラジオ深夜便で飾る」

(9/3 「ラジオ深夜便のつどい」公開収録)

「子どもたちも参加 地域ににぎわいを」

(8/27 なんとん商工祭)



▲園部小学校鼓笛隊によるパレード

今年から、「そのべ夏まつり」を「なんとん商工祭」に名称を変更し、リニューアルとなった夏のイベントが、園部町本町通りで行われました。

午前中には、恒例の園部小学校鼓笛隊のパレードが行われました。沿道には、子どもたちの雄姿を写真やビデオに収めようと、カメラなどを手にした保護者や大勢の市民の姿があり、多くの声援に包まれました。

夕刻からはステージイベントのほか、企業の出展ブースや飲食ブースなどが並び、大勢の来場者でにぎわいました。